

第5学年国語科学習指導案

1. 単元名

私の好きなまんがの「まんがの方法」を紹介します

教材：「まんがの方法」 石田佐恵子 文（教育出版5年）

2. 単元の目標

(1) 国語科としての目標

- 「まんがの方法」の紹介、詳しい解説や具体例、効果という説明の手順を押さえ、多くの投げかけや問いかけ、具体例など表現の特徴を捉えながら読んでいく。（読むこと 精査・解釈）

(2) 汎用的スキル

- 「まんがの方法」とその効果、筆者の紹介の手順や表現の特徴を参考に自分が普段読んでいくまんがについて、「まんがの方法」と自分の考えを書いている。（伝える力）

(3) 態度・価値

- 「まんがの方法」で学習した筆者の紹介の手順や表現の特徴を、自分が普段読んでいく好きなまんがについて関連させて書く。（好奇心・探究心）

3. 児童の実態

国語の学習では、友達の見方からじっくり考える児童が多い。友達の見方を聞き、さらに考えを広げたり深めたりしようとする態度や友達の見方を温かく受け入れる雰囲気がある。

第5学年の説明的文章教材では、2学期に「言葉と事実」「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう」を学習した。「言葉と事実」では、事例と解説の関係を学んだ。「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう」では、一つの問題について、ものの見方や考え方の違いから様々な意見や立場があること、意見と根拠の関係を学んだ。そして、文章構成や筆者の意見に着目して読んでいく。

本単元では、「まんがの方法」で学習した「まんがの方法」とその効果、筆者の紹介の手順や表現の特徴を参考に自分が普段読んでいくまんがについて、自分の考えを書くという活動を設定した。自分たちの身近なまんがと結び付けて考えることは、児童にとって興味関心が高いものであると考えた。文章から学んだことを自分が普段読んでいくまんがと比較して、読み取ったことを生かして、「まんがの方法」を紹介する文章を書くことができるように支援する。

4. 単元について1

①教科から見た特性

本教材は、日本のまんがの表現方法から、コマ、フキダシ、手書きの文字、人物のえがき方（表情）、物語の進行の方法、背景、ナレーターという代表的な七つを取り上げ、実際のまんがを用いて、読者にその効果を分かりやすく解説した文章である。まず、「まんがの方法」を紹介し、次にその効果を述べる。説得性を増すために具体例を挙げる。説明・効果・具体例という段落内の構成を読み取る力を育てていく。また、段落構成についても、前の段落で紹介した「まんがの方法」をつなぎ、次の「まんがの方法」を提示している。身近なまんが、自分の好きなまんがから自然と「まんがの方法」を探してみようとするのではないかと考える。その児童の意欲を生かし、身近なまんがから「まんがの方法」を自分で説明する言語活動を設定した。

②汎用的スキルや態度・価値育成の観点から見た特性

第16段落には、「みなさんも、自分の好きなまんがからいろいろな『まんがの方法』を見つけてみましょう。そうすれば、今までよりもっとまんがを楽しむことができるはずです」と読者を意識して書かれている文章がある。児童は、それを受け、身近なまんが、自分の好きなまんがから自然と「まんがの方法」を探してみようとするのではないかと考える。この文章から知った七つの「まんがの方法」、または新しく自分で見つけた「まんがの方法」について、実際のまんがと結び付けて、説明・効果・具体例という段落内の構成を生かし、自分で文章を書くことが、好奇心・探究心を育てることに有効であると考えた。また、仲間と書いた文章を共有することで、さらに考えも広がると考えた。

5. 単元計画と資質・能力を育成する主な手立て（全6時間 本時5/6時間）

	学習活動	関連する主な資質・能力	資質・能力を育成する主な手立て
第1次 (1時間)	・「みなさんも、自分の好きなまんがからいろいろな『まんがの方法』を見つけてみましょう」から学習の見通しをもつ。	○問題解決力	○解決したい、自分の身近な漫画と結び付けて考えるという場の設定
第2次 (3時間)	・本文の様々な「まんがの方法」とその効果について読む。 ・筆者の紹介の手順や表現の特徴について話し合う。	○批判的思考力 ○他者に対する受容・共感・敬意	○他者との学び合いの設定
第3次 (2時間)	・読み取った「まんがの方法」と筆者の紹介の手順や表現の特徴を生かし、私の「まんがの方法」を書き、紹介する。	○伝える力 ○他者に対する受容・共感・敬意	○他者との学び合いの設定

6, 本時の学習指導

(1) 本時のねらい

- ・読み取った「まんがの方法」と筆者の紹介の手順や表現の特徴を生かし、私の好きなまんがの「まんがの方法」を書くことができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	◇資質・能力を育成する主な手立て ◆評価
導入 3分	○「まんがは、そのおもしろさをどのような方法で表しているのでしょうか」と「みなさんも、自分の好きなまんがからいろいろな『まんがの方法』を見つけてみましょう」という学習課題を確認する。	◇「まんがは、そのおもしろさをどのような方法で表しているのでしょうか」と「みなさんも、自分の好きなまんがからいろいろな『まんがの方法』を見つけてみましょう」という文章から学習計画を確認する。(好奇心・探究心)
私の好きなまんがの「まんがの方法」を紹介しよう		
展開 37分	○「まんがの方法」を確認する。 ・コマがあったよ。 ・ナレーターも大事だね。 ・七つの「まんがの方法」が紹介されていたよ。 ○筆者の紹介の手順や表現の特徴を確認する。 ・まず、「まんがの方法」は、「これだ」と述べているよ。 ・それからその効果について述べています。 ・実際のまんがの絵を、具体例としています。 ○自分の好きなまんがについて、「まんがの方法」を紹介する文章の構成を確認する。 始め : 呼びかけ 中 : 自分の好きなまんがの「まんがの方法」の紹介 終わり : 自分の書いた「まんがの方法」についての考え ・私は自分の好きなまんがの人物の心の動きや動作、音などを強調していることを書きたいな。 ・僕は背景に注目して、「まんがの方法」を紹介したいな。 ○自分の好きなまんがについて、「まんがの方法」を紹介する文章を書く。 ・まんがは、そのおもしろさをどのような方法で表しているのでしょうか。そのひみつをさぐってみましょう。 「フキダシ」とよばれる円形のわくの中に、印刷用の文字が入っています。フキダシではなく、絵の中に直接書かれている文字もあります。この文字は効果音です。大きく書かれたり、字体を変えたりすることで、臨場感あふれる画面になります。 私は、「まんがの方法」の手書きの文字があることで、まんががより一層楽しくなると思います。どんな字体にするとより楽しめるのかまた考えてみたいです。	◇前時までに読み取った「まんがの方法」を確認することで、自分の書く「まんがの方法」を想起させるようにする。 ◇筆者の紹介の手順や表現の特徴を確認することで、文章構成を確認する。 ◇簡単な文章構成を作り、書かせるようにする。 ◇新しい「まんがの方法」を紹介してもよいし、教科書にある方法を自分の好きなまんがに当てはめて書いてもどちらでもよいことを伝える。 ◇自分の好きなまんがの絵と結び付けて、文章を書かせるようにする。 ◆「まんがの方法」、効果、具体例という筆者の紹介の手順や表現の特徴を生かして書いている。(読むこと 考えの形成 書いた説明文、ノートの記述)
結末 5分	○学習感想を書く。 ・次回は友達の書いた「まんがの方法」を読みたいです。 ・自分の好きなまんがから新しい「まんがの方法」を考え、書くことができました。 ・筆者のように、「まんがの方法」、効果、具体例と、分かりやすく伝えられるように書けました。	◇「まんがの方法」、効果、具体例という筆者の紹介の手順や表現の特徴を生かして書くことができたかを振り返ることを確認する。(振り返る場の設定: 伝える力)